



Career Scope

「R-CAP」での自己理解をベースに 『Career Scope』で職業観を育む

— 日比谷高校（東京・都立） —

取材・文／太田知子



右から
進路指導部主任
白田浩一先生
2学年担任（進路担当）
田浦ひとみ先生
2学年担任（教務担当）
深川治先生

School Data

創立1878年／普通科
生徒数966人（男子501人・女子465人）
進路状況（2013年度）／大学進学54.0%、短大進学0%、
専各進学0.3%、就職0%、その他（浪人含む）45.7%
東京都千代田区永田町2-16-1
TEL 03-3581-0808
URL <http://www.hibiya-h.metro.tokyo.jp/>

■ 2013年度1学年の リクルートサービスを使った 進路学習

12/11	適性検査「R-CAP」
1/22	「R-CAP」結果報告書返却 報告書の見方配付・説明 職業研究ワークシート記入
2/5	『Career Scope』配付、 ワークシート記入
1/29	『文理選択応援BOOK』配付 学問研究ワークシート記入

総合的な学習の時間、LHRを利用。当初の予定より多めの時間をかけて取り組んだところ、学年全体で好評だったという。同校では2学年での文理選択はないが、『文理選択応援BOOK』を学問研究のスタートと位置付け、あわせて配付した。

■ 『Career Scope』の ワークシートの記入例

項目	回答に留意して書いてみよう
学部・学科や 学部・学科理由	好きな科目・科目を学びたい理由や、 将来の夢や目標と関係がある科目や 科目を挙げてみよう。
学ぶ理由や 学び方	この分野について学びたい理由や、 将来の夢や目標と関係がある科目や 科目を挙げてみよう。
興味したいこと や学びたいこと	この分野について学びたい理由や、 将来の夢や目標と関係がある科目や 科目を挙げてみよう。
大学4年間で 履修したいこと	この分野について学びたい理由や、 将来の夢や目標と関係がある科目や 科目を挙げてみよう。

ワークシートでは興味をもった人物や職種を選び理由や感想を書く。そのうえで、10年後どんな自分になっていたか、高校時代をどう過ごすかなどを書き出す。こうした作業を経たまとめ欄には「前より自分の進む先が見えた気がする」「自分がこれからどうしていくべきか、意識を高めることができた」などのコメントがあった。

■ 進路学習ファイル



「R-CAP」の診断結果として渡されるファイルに、そのほかの進路学習の資料やワークシートもあわせてファイルし、いつでも見返せるようにしている。

「知の日比谷」をスローガンに、国際社会でリーダーとして活躍する人材の育成を目指す東京都立日比谷高校。昨年度、難関国立大学へ40人超の現役合格者を輩出し、「都立の復権」を象徴する存在だ。

「本校では『学力こそキャリア教育』と考え、文系・理系に偏らず、教養としてのハイレベルな学力を幅広く身につけることに力を入れています。その一方で、文化祭、体育大会などの行事はすべて生徒だけで行い、実行力、計画力、人間関係力などの社会人基礎力を3年間かけて養います」と語る進路指導部主任の白田浩一先生。

第一線で働く大人に触発され 自分を磨く意欲が湧く本

進路関連行事としては、1学年の後半に自己理解や職業観の育成、学問研究を行い、2学年では志望校研究、卒業生講演などが行われている。

1学年の12月には毎年、適職・適学診断「R・CAP」を実施していたが、2013年度から、これに合わせて『Career

Scope』を使った進路学習が始まった。この本は「海外とつながる」「チーム力で仕事に挑む」などのキーワードに沿って第二線で活躍する社会人を紹介。ハイレベルな課題に挑戦する大学生も登場する。未来の社会で必要な力は何か、未来に向けて今学ぶ意義は何かを伝えている。

「本を読んで、すぐに使いたいと思いました。1年生は世の中にどんな仕事があるか、あまり知りません。高校卒業後の進路ですら、『特に考えていない』という生徒が多くいます。個人差はありますが、進路情報に触れる機会が驚くほど少ないのです。そんな生徒たちが『Career Scope』を読んで、仕事の幅広さに気づき、自分の進路を考える手がかりや刺激になればいいなと思いました」と語るのは、昨年度1学年を担当した田浦ひとみ先生。

「『Career Scope』は、『R・CAP』で発見した自分の適性や能力をベースに、いかに社会貢献と自己実現を結び付けて社会で活躍するかを考える、自分磨きのための本だと思います。同じく昨年度1学年担任の深川治先生はこう評価する。

高校で味わう挫折を乗り越え 前向きに将来を考える手助けに

「R・CAP」「Career Scope」のいずれも、リクルートが用意した数種類のワークシートから1枚を選んで利用した。

「生徒たちはワークシートにもまじめに取り組んでいました。特に『Career Scope』では目標となるような登場人物の出身大学や学部、高校時代などがわかるので、自分がどんな大学に行きたいか具体的に考えるきっかけになった生徒が多かったと思います」と田浦先生。

深川先生は、「Career Scope」は前向きに将来を考える手助けにもなるという。「本校には、中学時代は学力上位でリーダーだった生徒が多く集まりますが、高校でそれが通用するのは、ほんの握り。多くの生徒が挫折感を味わいます。でもこの本を読むと、社会に出ればいろいろな活躍のしかたがあり、自分なりの輝き方があることがわかりました。そのことに気づけるのも、この本を使うメリットです」。